



自衛隊栃木地方協力本部

栃木県内の高校で「スマートハート」を実施 ～自衛隊と高校をつなぐ絆～



挨拶をする教官役の地本部署員。
陸海空のいろいろな制服・
迷彩姿を見せるため選抜された。

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 高井一尉）は、6月7日（水）、8日（木）、栃木県立高根沢高等学校において、スマートハートを実施した。

スマートハートとは、「自衛隊が持つ発声方法などのノウハウを就職面接に活かさないか」との依頼を受け、「凜とした心を育む」ことを狙いとして企画された授業で、平成25年から希望する高校で行われている。

今回は、高根沢高校出身隊員（北宇都宮・地神士長）の支援を受け、母校訪問も兼ねて実施した。

2日間で3年生170名が参加し、17個の班に分かれて、前半は「気を付け」や「礼」などの動作や発声練習を行った。後半は、入室から退出までの一連の動作を練習し、教官役の隊員たちは、真剣に学ぼうとする生徒たちの姿に自身の学生時代の姿を重ね、胸を熱くさせていた。

また、高根沢高校担当の平井一曹は、平成25年当時、スマートハートの計画に携わった一人であり、「当時は振り返りながらも現在まで試行錯誤されながら受け継がれてきたスマートハートを今日実施できたことを感慨深スマートハートを今日話していた。

大田原地域事務所は、「今後も、スマートハートを継続して行き、学校との連携と信頼関係を強化し「地域密着型」の募集広報活動を推進していく」としている。



生徒の前で挨拶をする地神士長



学校長に表敬する地神士長（左手前）



面接時の入退出要領の展示の様子



班ごとの練習風景（礼）



班ごとの練習風景2（入退出）



班ごとの練習風景3（気を付け）